

やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	6 / 1960 / 30-31
タイトル	鳶沼周辺の植物相
著者名	吉川保昌

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

鳶沼周辺の植物層

前 書

二年古川保昌

本調査は1960年7月25日から30日までの6日間植物垣が行ったものであるが、1週間という長期間にもかかわらず、晴天と言える日はまずなく、常に小雨状態であったため調査は難行を生ずるの延論を出せないのは全く残念であり、又先輩にお申しわけなく思っています。

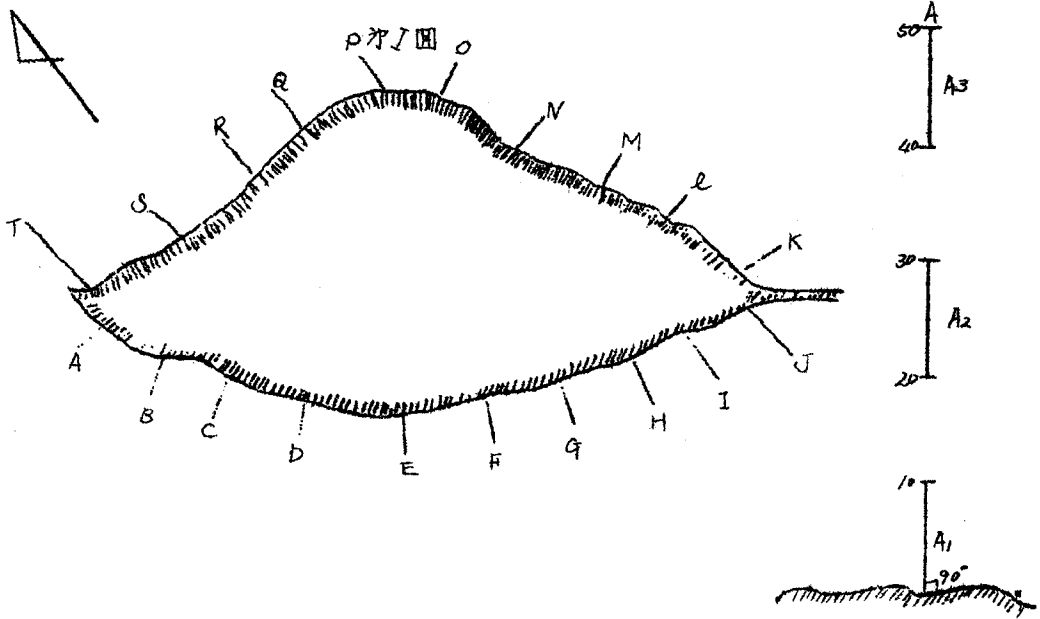
調査地域

鳶は十和田国立公園中、国民温泉酸ヶ湯と十和田湖のほぼ中間に位置し、ブナの乗込杯がうっそうと「暮お暗きブナの並木-----」その中に囲まれた。

鳶七沼中、一番有名かつ大きい鳶沼湖畔である。湖畔には、ブナの大木、若木、シダ、つたうるしがびっしり生えそれが総に調査員は、びっしりぬれうるしかぶれになったのです。

調査方法

去年の方法と、ぐつと変えて図のように、A～Tまで20本の50mラインを湖畔と直角を
 為すように張り、0～10m-A₁, 20～30m-A₂, 40～50m-A₃というよう
 に記号を付けこのラインにふれた植物名、種類を調べたのであります。



才五圖

結 論

去年と同結果になり結論は出せなくなったけれど、去年の調査と同じ植物しか得られなかったの
 で、このライン式も調査の一方式としては十分活用出来ることを確認した。この方法ですと頻度及
 び比度が比較的簡単に出来るので、採年度からは十分活用して見たい。最後に投力してくだした先輩
 及び、他班員、植物班員に感謝致します。